

農林漁業を成長産業にする

食の価値を創出する

十勝の魅力を売り込む

【主な

【主な

今後の方向性

強化された地域産業の成長基盤を活かし次のステージへ

【主な取組内容】

- ・国際戦略総合特区の指定
- ・JAの農産物貯蔵施設、集出荷施設の整備支援

- ・十勝型GAPの普及
- ・施設園芸実証事業の実施

- ・高付加価値作物(薬草)の作付けに対する支援

- ・地域コントラクターによる飼料自給体制の充実

- ・ICT農業推進研究事業
(GPSガイダンス普及拡大)
- ・土壌分析支援(適正施肥促進)

【主な取組内容】
・十勝産小麦の地元消費拡大と
ブランド化に向けた取組推進

- ・明治との乳の健康価値の創出

「グルトプロジェクト」の推進
・ものづくり総合支援補助金による

・地域資源を活用した新商品・製品開発への支援、工場の新増設への支援

- ・北海道畜産公社のと畜場整備の支援及び企業誘致の促進
- ・地域内における食文化向上の

・十勝・イノベーション・エコシス

- ・人材育成事業の事業者支援

・東アジア・東南アジアでの観光
プロモーション 滞在型ツアーの

- ・首都圏や関西圏のホテルや飲食店における十勝産フェア

- ・JICA草の根事業を通じた事業者の海外進出
- ・「とかちのかち魅力発信PJ」の

光PR
・銀の匙等を活用したPR事業

・フードバレー交流都市との地域イベントの相互交流

- ・良育推進リポーターなど、関係機関と連携した「食育」事業
- ・農村ホームスティ受入れやインターンシップ事業の取組

- ・地域連携（ネットワーク）に基づく、常呂畜産大学、とから財団、市、関係者による情報交換の定期開催
- ・化学肥料、化学合成農薬を削減する環境保全型農業に対する支援
- ・川西、大正地区における光ファイバー網の整備
- ・十勝バイオガス関連事業推進協議会（H29）の設立や、川西バイオマス㈱（H30）への支援によるバイオマス利活用の推進

- ・未利用資源を活用した新たな価値の創出(畜大との連携)
- ・地域事業者の販路開拓トリアルvarez
- ・ドブ生産、ワイン醸造に取組む事業者の支援
(あいざわ農園、芽室ワイナリー、十勝まきばの家ワイナリー設立)
- ・帯広畜産大学敷地内に酒蔵設立(上川大雪酒造「碧雲蔵」)
- ・十勝・イノベーション・エコシステムによる創業・起業の促進
- ・十勝人チャレンジ支援事業の拡充(市からとかち財団主催へ)

- ・農業振興施設、農産加工施設、観光施設、環境施設等の事業の取組支援(いたゞきますカンパニー、(財)TASUKI等)
- ・ケダ(マレーシア)フードバレーへの協力(JICA草の根事業)
- ・札幌市を始めたとしたダイヤモンドロマン構想を活用したPR
- ・関係人口創出・拡大に向けたワーケーションの実施
⇒第1回生命・10勝シティデザインと連携協定締結、
ワーキングスペースの提供

- ・新規入パイプハブズの施設の整備支援
- ・新規参加者の実践的支援や農家後継者の確保育成等
- ・地域連携フェロー制度に基づく、産学官関係者による情報交換の定期開催
- ・化学肥料、化学合成農薬を削減する環境保全型農業に対する支援
- ・持続可能な食料システムの構築に対する生産者の理解醸成
- ・十勝パイプハブ産業都市構想の継続及び拡大(R6)

- ・市営大塚池 協会が主催する札幌道南フードネットワーク（フーズネット）による新商品開発や販路拡大
- ・事業創発拠点LAND主催イベントなどの地域資源を活かした事業創発の促進およびLAND中心としたベンチャーコミュニティの拡大
- ・とかちビジネスチャレンジ補助金の実施
- ・学び直しを支える環境づくりの推進として熱中開拓機構への補助を通じたフードバリエーション食の熱心な中小学校の実施

- ・北海道エアポート(株)や観光関連団体等と連携した既存路線の利用促進や国内外路線拡充に向けたプロモーション
- ・東北海道の中核都市との連携強化として、中核3市と北海道エアポート(株)、航空会社と連携したプロモーション
- ・国際農業機械展及びびんかつし食彩祭の開催

◆十勝バイオマス産業都市構想

H24年 47人 ⇒ R6年 652人

⇒ R6年 25件 1,225人

- ・災害に強い農業
(気象変動に対応した生産基盤)

・十勝ブランドの強化

施策展開

第四期 (R4~現在)

日本の食を支える
十勝の役割は益々重要に
「食の安全保障」

